



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和6年2月2日（金）No 37 発行
文責：松本 卓也

美味しいと言ってくれることが一番嬉しいです

1月24日（水）から1月30日（火）まで、「全国学校給食週間」でした。学校給食は、明治22（1889）年、山形県鶴岡町（現鶴岡市）の小学校で貧困家庭の児童を対象に行われたのが始まりとされています。献立は、「おにぎり・焼き魚・漬物」でした。その後、都市部を中心に広まり、戦後の厳しい食糧事情を乗り越え、全国的に普及していきました。現在は小学校でほぼ100%、中学校で90%の学校で給食が実施されています。全国学校給食週間の取組の一環として、29日（月）の6時間目に東陽給食センターから学校栄養職員のI先生、調理員のTさんをお招きして給食集会を行いました。まずは、給食クイズ（歴史編）です。「日本で給食が始まったのは何県？」「全国学校給食週間が定められたのはいつ？」「東陽給食センターの現在の建物 が建てられたのはいつ？」等々、明治から昭和、現在の給食について、楽しく学べるよう出題してくれました。続いて行ったインタビューでは、①献立や衛生面の工夫、②調理するうえで気をつけていること、③この仕事をしていて嬉しいこと、④中学生の食事で気をつけることについて、I先生、Tさんから教えていただきました。食中毒が起きないように温度管理等、細心の注意を払っていることや、東陽で採れる旬の野菜を使うことでより東陽町を好きになってもらうようにしている等、さまざまなお苦勞や思いを伺いました。“美味しいと言ってくれることが一番嬉しいです！”“たくさん食べてくれるとやりがいを感じます！”の言葉が印象に残りました。最後に行きました。豆つかみ大会では、I先生やジェシー先生が先生チームに参加いただき、大変盛り上がりました。いろいろな方が携わって給食が提供されています。パンの大きさも成長具合で4種類（中学生70g、小学校高学年60g、中学年50g、低学年40g）あり、揚げパン等、調理パンをつくる際は、同じ作業を4回繰り返されるそうです。大変な勞力です！感謝の思いをもって残さず食べましょう！I先生、Tさん、ありがとうございました。



【文部科学省：みんなの学校給食】



Special English Time for Performance Test

26日（金）、八代市に勤務されているさまざまなALTと英語でコミュニケーションを図る機会を設けることで、英語学習の成果等を実感したり、英語の学習意欲や興味・関心を高めたりできるようにすることを目的として、「Special English Time for Performance Test」を行いました。本校に勤務されているジェシー先生を始め、4名のALTが来校され、子どもたちのスピーチに対する評価や日常会話、福笑い等、さまざまな英語を用いた活動を行ってくれました。初対面のALTにも緊張することなく、子どもたちが笑顔でコミュニケーションを図る姿がみられ、ALTの先生方もその積極性に驚かされていました！（「東陽中の生徒は、絶対英語が上手になる！！」とジェシー先生からお褒めの言葉をいただきました。）とても貴重な学びの時間になりました。ALTの先生方、ありがとうございました。



15の春に向けて Part2 ～公立前期選抜～

1日（木）、公立高校前期（特色）選抜が行われました。「今日、空いてますか？面接指導をお願いします」と、何度も何度も相談しに来る等、子どもたちは、自ら進んで練習を重ねていました。最初は具体的ではなかった志望理由や将来の夢も、回を重ねる毎に明確になり、5年後、10年後のなりたい自分をきちんと思い描けていることを頼もしさを感じました。思いはしっかり高校側に伝わったと思います。よく頑張りました！（写真は、朝の集合のようすです）



3学期授業参観・PTA 定期総会のお知らせ

期日：2月16日（金）13:40～
※詳細は地域ポータルアプリ1月12日配信の添付ファイルをご確認ください。

※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）